

“食”に携わる全ての企業様のために ——

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ

フード業界の発展に貢献 ～

株式会社インフォーマート

2008年12月期

第3四半期決算説明資料



2008年10月30日

東証マザーズ(2492)

I. FOODS Info Mart 概要	… P1
II. 2008年12月期第3四半期決算	… P8
III. EMP事業 について	… P16
IV. ASP事業 について	… P21
V. その他の活動報告	… P27
VI. 補足資料	… P31



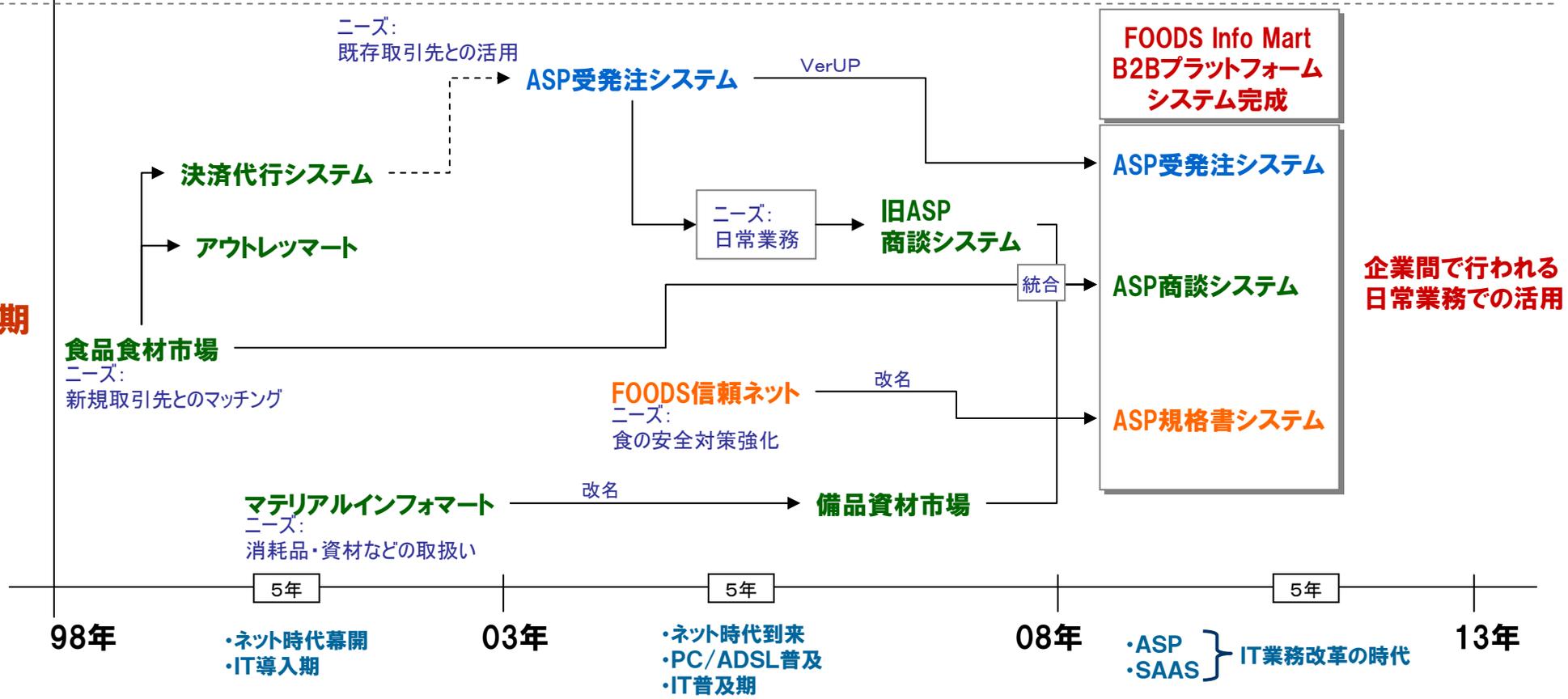
I . FOODS Info Mart 概要

安定期

成長期

草創期

～3システムが整ったFOODS Info Mart は
いよいよ成長期へと躍進いたします！～



買い手 利用企業

スーパー・小売、レストラン、ホテル・旅館、給食・惣菜、通信販売会社、食品メーカー、卸売業・商社 等

売り手 利用企業

食品製造、生産者、卸売業・商社、農協・漁協、特産品業者、仲卸 等

課題 !

既存取引先の取扱商品を把握したい
見積や提案を一斉に依頼・回収したい
社内で商品情報や商談履歴を共有化したい
新規の取引先を開拓したい
.....

電話・FAX受発注を改善したい
店舗別の仕入状況を把握したい
低コストでシステムを導入したい
.....

取引の商品規格書作成が大変
商品規格書データを整備したい
トレーサビリティシステム導入
.....

FOODS Info Mart B2Bプラットフォーム

フード業界の
企業間グループウェア
ASP商談システム

EMP事業

日々の受発注業務の効率化
ASP受発注システム

ASP事業

安心と安全の仕組みづくり
ASP規格書システム

ASP事業

解決 !

売上拡大・購買強化

コストダウン

Web受発注で業務効率化

コストダウン

データベースで業務効率化

コストダウン

買い手	利用企業数	利用事業所数	利用担当者数
	2,443社	3,438箇所	9,043名

売り手	利用企業数	利用事業所数	利用担当者数
	2,393社	2,622箇所	7,312名

買い手企業

社内グループウェア

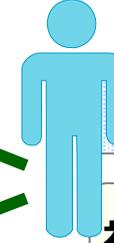


既存取引先と活用
取引先グループウェア

新規取引先と活用
業界グループウェア

売り手企業

社内グループウェア



購買に営業に
毎日使える豊富なツール

提案募集

サンプル依頼

見積書

比較検討

ダウンロード

予定表

見積提出

取引履歴

商品案内

カタログ印刷

PDF

買い手	利用企業数	利用事業所数	利用担当者数
	499社	11,523箇所	27,420名

売り手	利用企業数	利用事業所数	利用担当者数
	13,084社	14,587箇所	27,304名

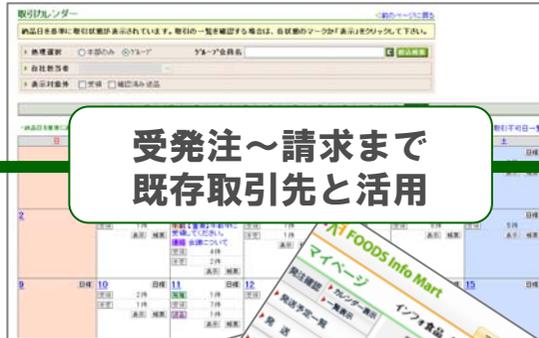
買い手企業



受発注～請求まで
既存取引先と活用



売り手企業



発注に受注に
毎日使える豊富なツール



発注



検品・受領



買掛確定・支払通知



棚卸高



ダウンロード



仕入年表



請求書発行



マスター登録・単価変更



受注・発送



納品書発行



商品別売上一覧

買い手	利用企業数	利用担当者数
	96社	331名

売り手	利用企業数	利用担当者数
	2,419社	5,388名

買い手企業



取引商品の安全確認に
既存取引先と活用



売り手企業

規格書状況管理(買い手)

提出状況確認

提出状況確認画面のスクリーンショット。提出済みの規格書を確認するためのインターフェース。

記入チェック内容

記入漏れチェック

記入漏れチェック画面のスクリーンショット。規格書の記入漏れを確認するためのインターフェース。

取得・承認

取得・承認画面のスクリーンショット。規格書の取得と承認を行うためのインターフェース。

各種検索

規格書確認

各種検索画面のスクリーンショット。規格書を検索するためのインターフェース。

取得に提供に
毎日使える豊富なツール

マイページ

マイページ画面のスクリーンショット。ユーザーの個人情報を管理するためのインターフェース。

規格書登録

規格書登録画面のスクリーンショット。規格書を登録するためのインターフェース。

未記入チェック

未記入チェック画面のスクリーンショット。未記入の項目を確認するためのインターフェース。

提出

提出画面のスクリーンショット。規格書を提出するためのインターフェース。

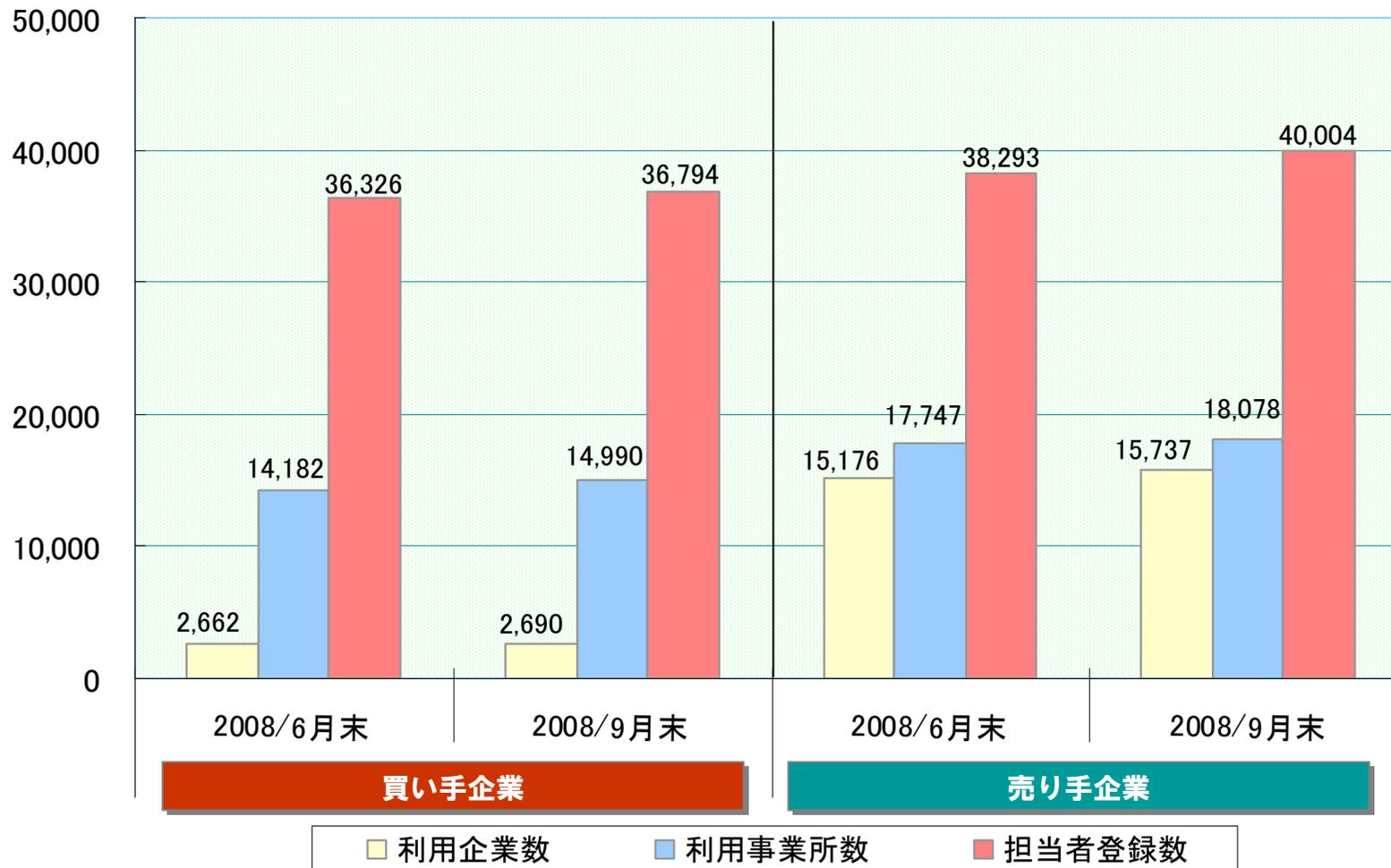
仕様変更通知

仕様変更通知画面のスクリーンショット。仕様変更に関する通知を行うためのインターフェース。

データダウンロード

商品名	部	乳	小	大
1. チョコレート				
2. マンゴープリン				
3. 杏仁豆腐				
4. 練乳のまこ				
5. 冷凍ちま子				
6. 冷凍プリン				
7. 焼いたのり				
8. きんごの菓物				
9. きんごのちま子				
10. きんごのちま子				

FOODS Info Mart のシステムは、導入企業様の事業部や各部門において、業務改善や生産性向上への取組みに活用いただいております。



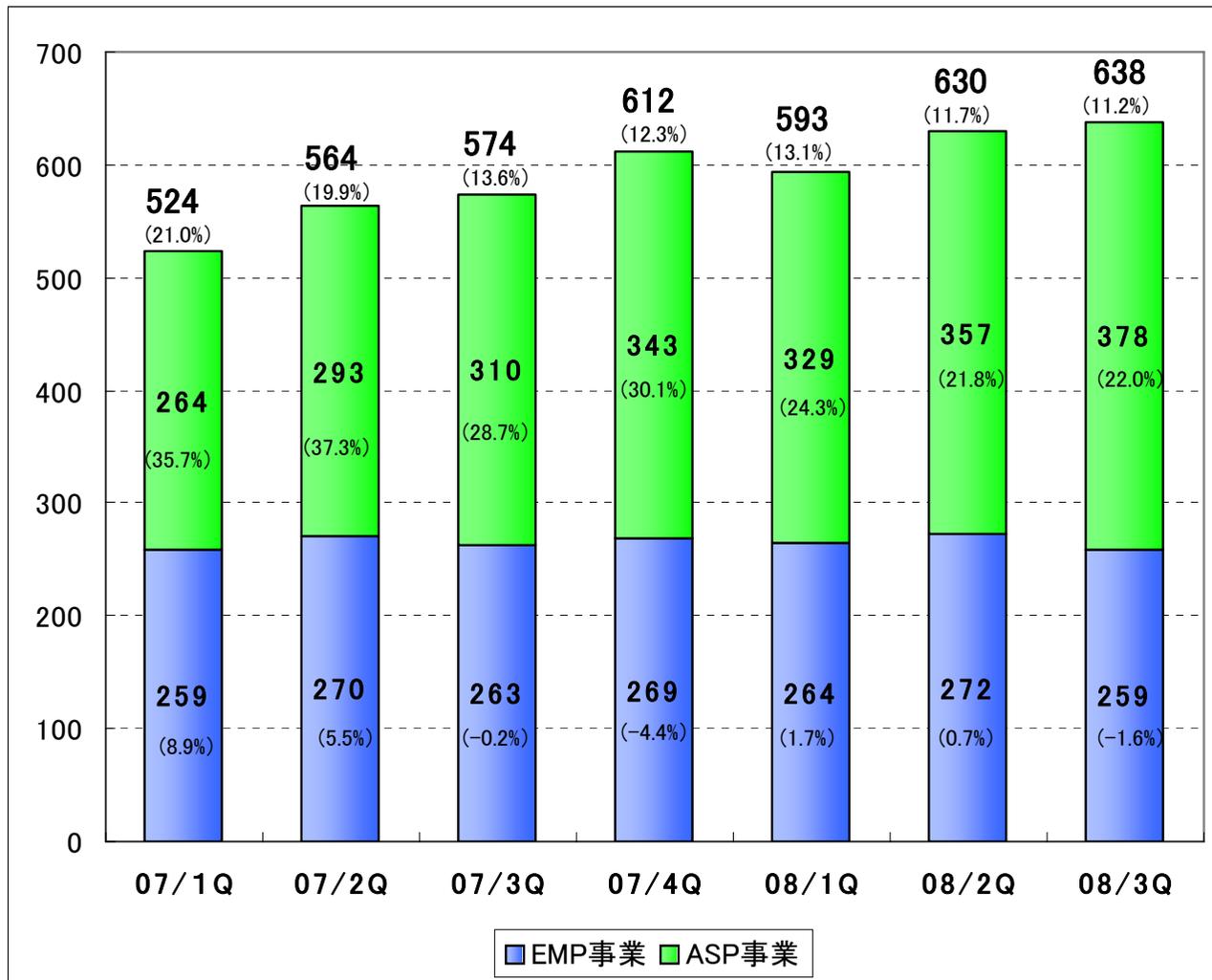
9月末現在、合計で18,063社、33,068事業所、76,798人の担当者にご活用頂いております。



II . 2008年12月期 第3四半期決算

(単位:百万円)

(単位:百万円)



		07/12 1-9月	08/12 1-9月	増減率
売上高	EMP	794	796	0.2%
	ASP	869	1,065	22.6%
	合計	1,663	1,861	11.9%

〈EMP事業〉

・「ASP商談システム」は、「業界・取引先・社内グループウェア」として既存買い手企業、「ASP受発注システム」の企業を中心に利用を推進しました。

・売り手企業が掲載する「商品カタログ」等の情報量が増加したことから、「決済代行システム」及び「アウトレットマート」の取扱高が増加しました。

・一方、従来の「食品食材市場」等の1年目の利用企業の解約数が新規数を上回り、当第3四半期末の「EMP事業」の利用企業数は、純減となりました。

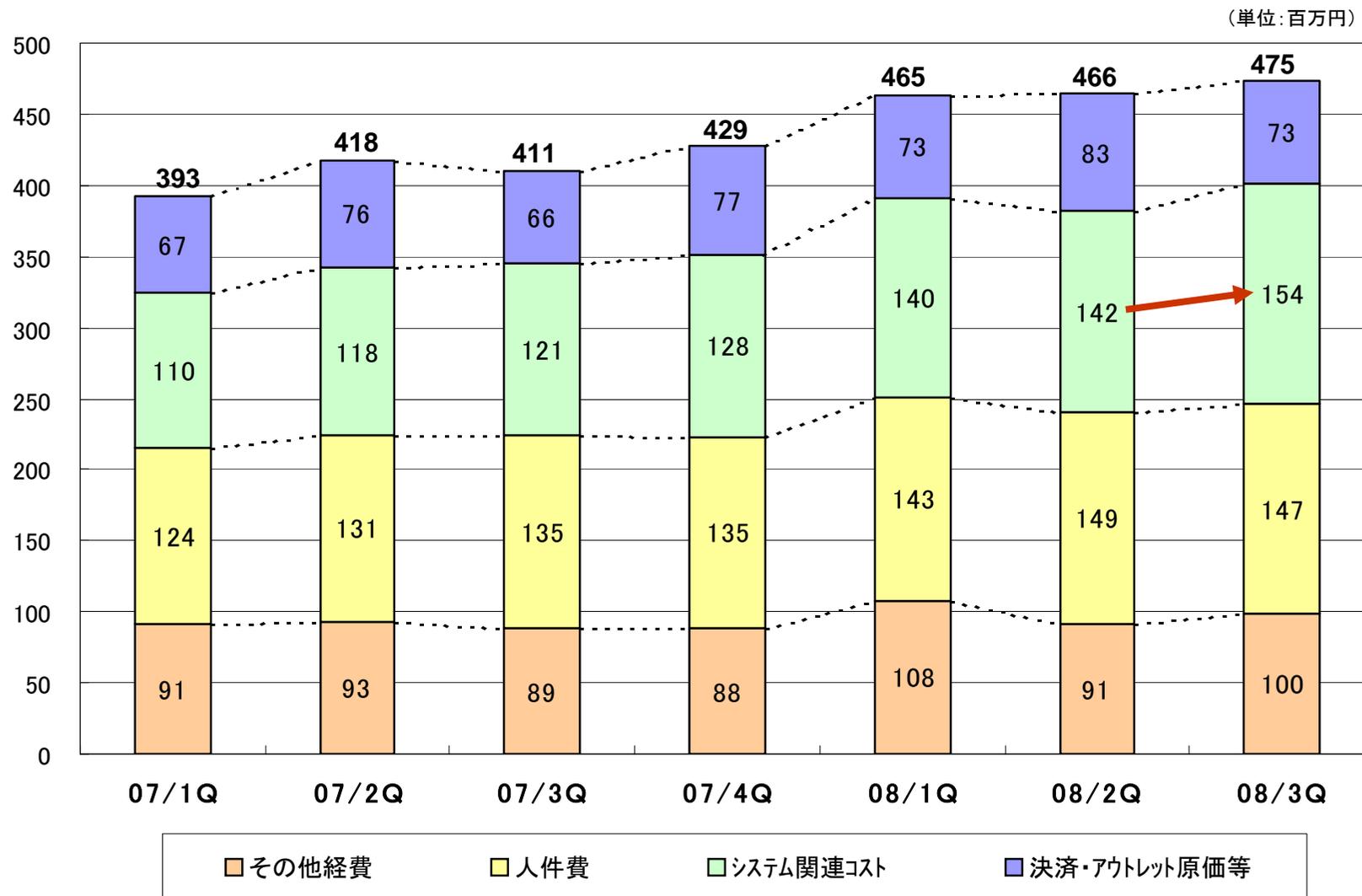
〈ASP事業〉

・「ASP受発注システム」は、引き続き、外食チェーンを中心に新規獲得が順調に進み、買い手利用店舗数も1万1千店舗を突破しました。

・「ASP規格書システム」は、食に関する問題等によるフード業界各社の食の安心・安全対策強化の流れを受け、商品規格書の必要性が一層高まったことから、システム利用が着実に拡大しました。

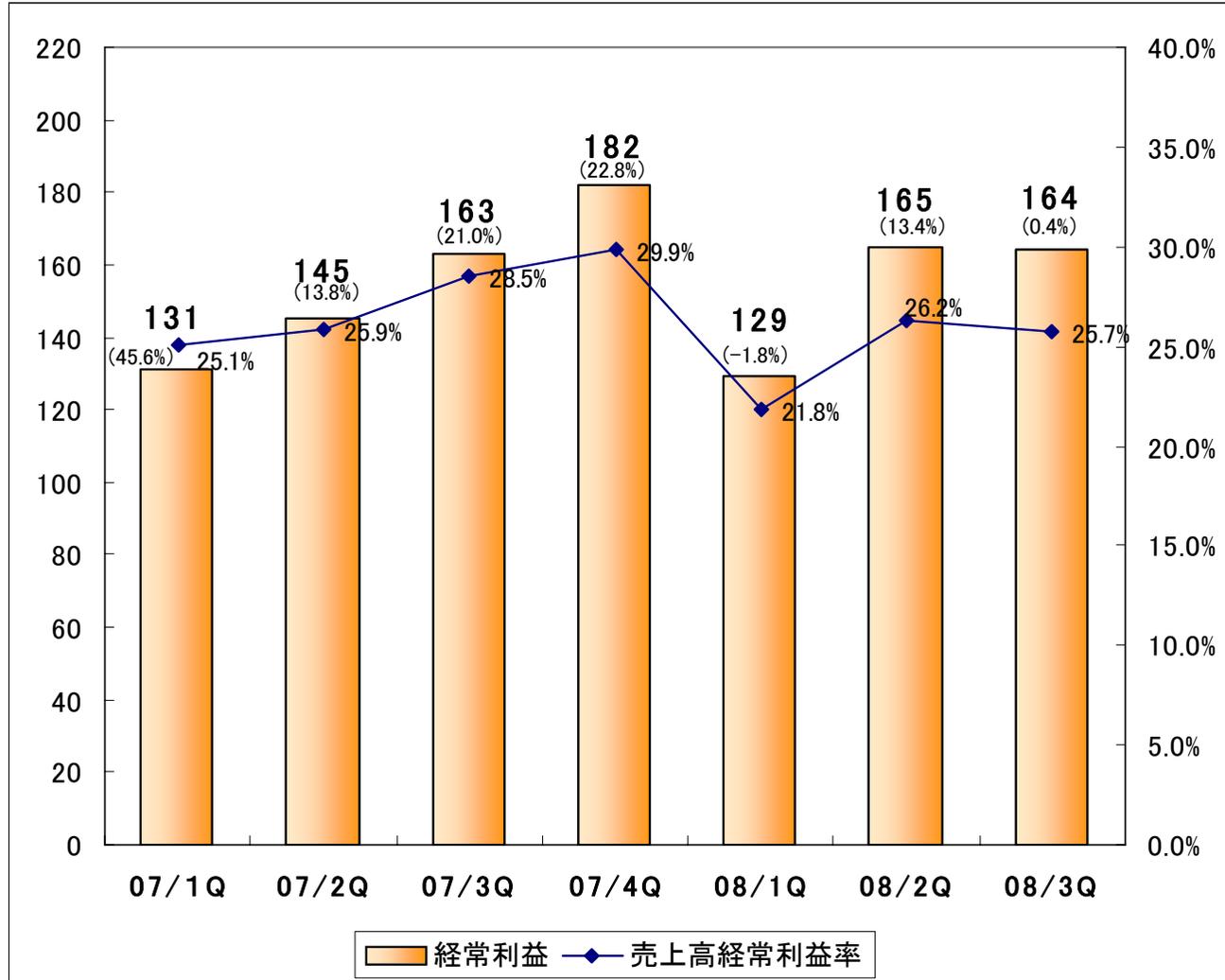
※カッコ内%は前同期比の増減率です。

サーバー増強、システム開発強化により「開発関連コスト」が増加(中間期の期ズレコストは第3四半期で計上)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



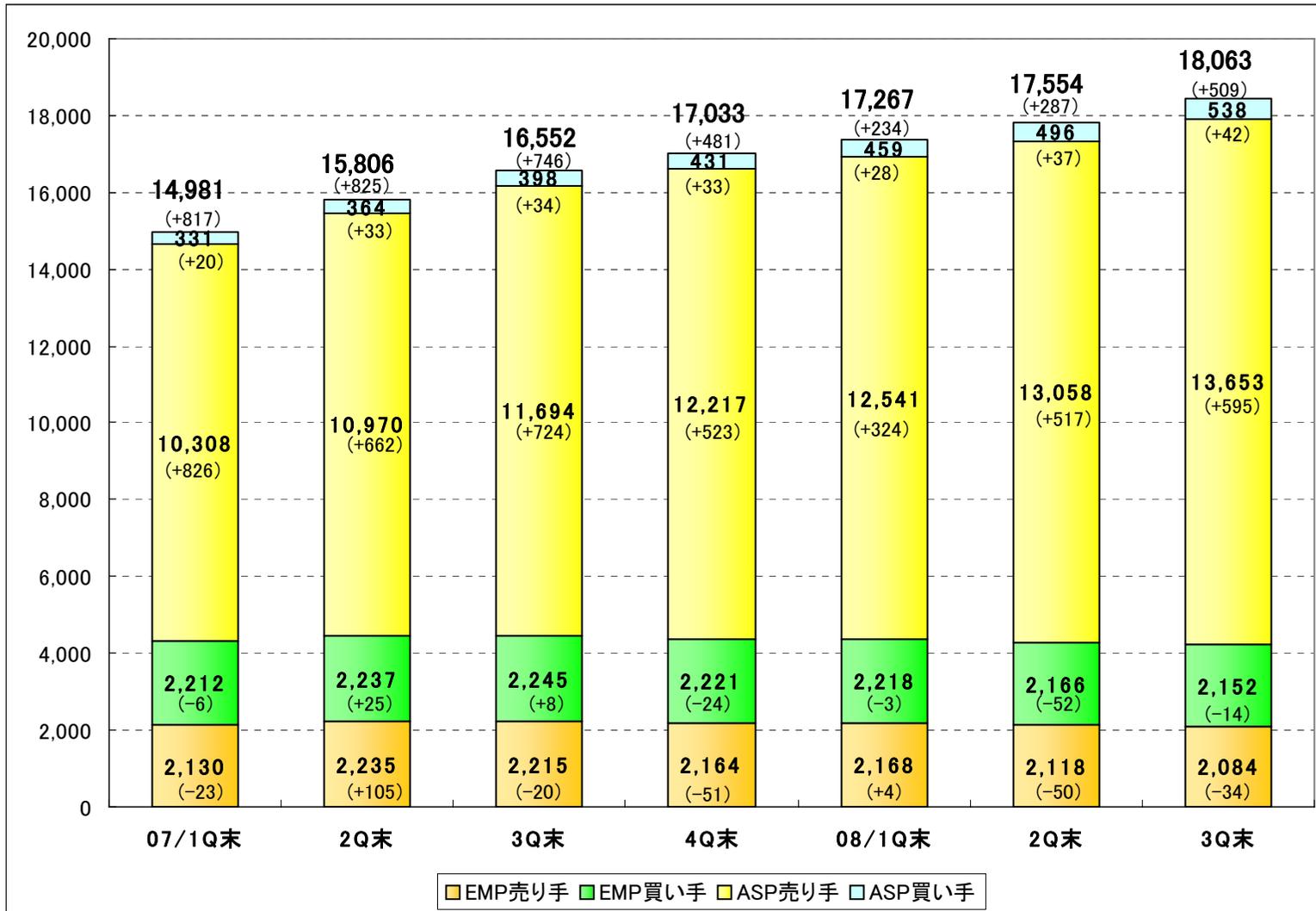
	07/12 1-9月	08/12 1-9月	増減率
営業利益	439	455	3.6%
経常利益	441	458	4.0%
当期純利益	243	267	9.7%

当第3四半期経常利益は、「ASP事業」の利用企業数拡大によるシステム使用料収入の増加が、サーバーの増設、営業体制強化のための増員によるコスト増を吸収し、前年同期比で増加となりました。

※カッコ内%は前同期比の増減率です。

「FOODS Info Mart」利用企業数、「ASP事業」の利用拡大で 1万8千社突破

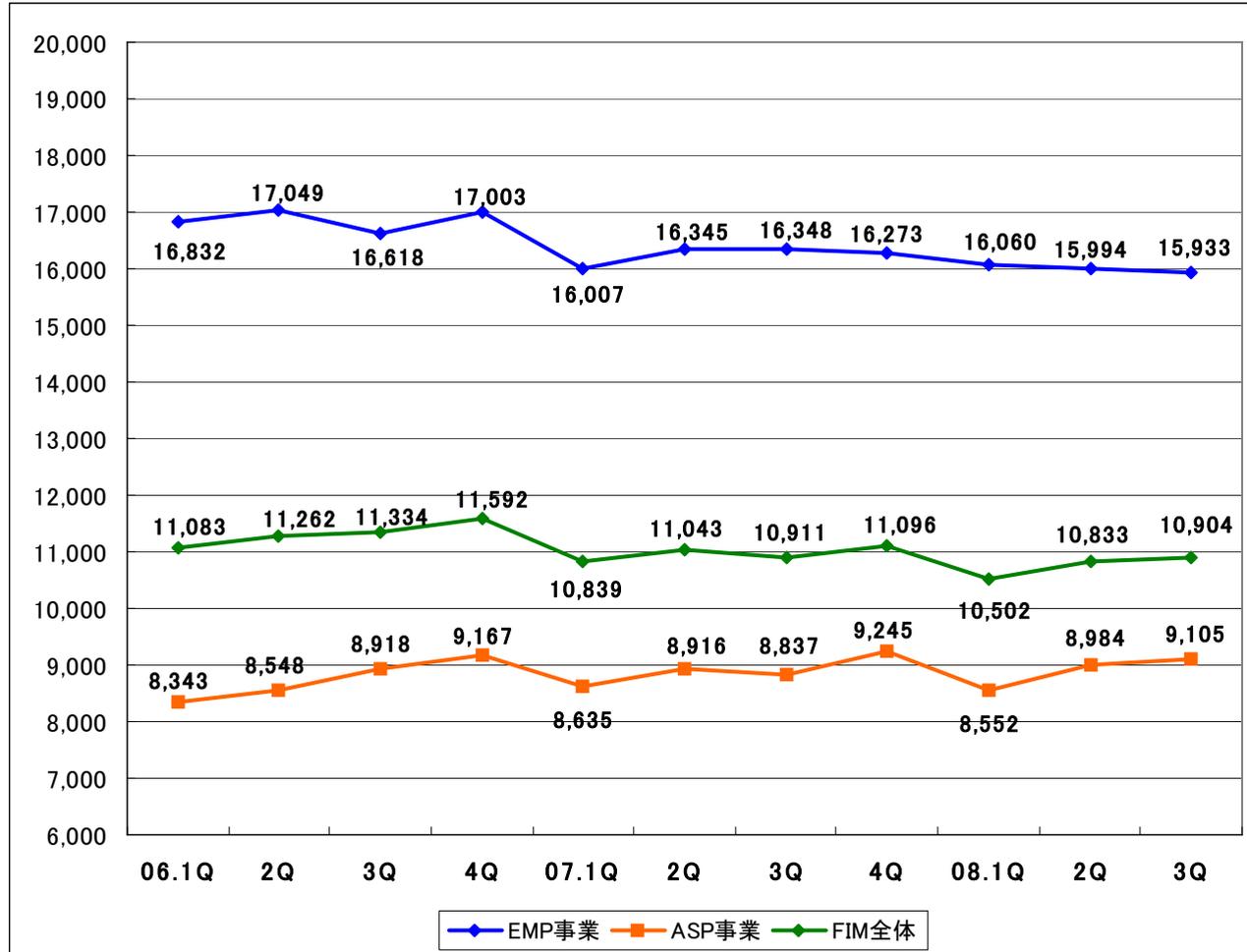
(単位:社)



(注) 1. カッコ内は前四半期末比の増減数です。

2. 合計社数は、事業部門の利用企業数の合計から、ASP事業の利用企業でEMP事業のシステムを利用する社数を控除した数値です。

(単位:円)



・第3四半期の月額顧客単価は、既存企業の「ASP規格書システム」の利用拡大で上昇しました。

・第4四半期は、

－「ASP商談システム」及び「ASP規格書システム」の利用拡大

－食品食材の流通が多い期間であることから、「EMP事業」の決済代行システム、アウトレットマートの取引増加、「ASP事業」の売り手従量制システム使用料の増加

により月額顧客単価の上昇を見込みます。

■2008年度予想ARPU (2008/4Q)

EMP事業	17,000円
ASP事業	9,600円
FOODS Info Mart 全体	12,000円

FIM全体ARPUの中期目標: 20,000円

(注)上記ARPU数値は、各四半期の売上高(EMP事業のアウトレット取引は、売上総利益で計算)と四半期平均利用企業数により計算しております。

■業績

		2008/12期			
		第3四半期(実績)		通期(予想)※	
		金額(百万円)	前年同期比	金額(百万円)	前期比
売上高	EMP事業	796	+0.2%	1,198	+12.7%
	ASP事業	1,065	+22.6%	1,542	+27.2%
	合計	1,861	+11.9%	2,740	+20.4%
営業利益		455	+3.6%	747	+19.9%
経常利益		458	+4.0%	750	+20.2%
当期純利益		267	+9.7%	413	+9.0%

〈EMP事業〉

・当第3四半期までに蓄積した新規見込み企業に対して着実に「ASP商談システム」の日常業務での利用促進及び新規利用企業の獲得を重点的に進めてまいります。

・第4四半期は、例年、食品食材の流通が多い期間であることから「決済代行システム」・「アウトレットマート」の増加を見込みます。

■利用企業数

(単位:社)

		2008/9末		2008/12末	
		実績	前期末比	予想	前期末比
EMP事業	売り手	2,084	-80	2,764	+600
	買い手	2,152	-69	2,261	+40
	合計	4,236	-149	5,025	+640
ASP事業	売り手	13,653	+1,436	14,117	+1,900
	買い手	538	+107	591	+160
	合計	14,191	+1,543	14,708	+2,060
調整値(-)	売り手	-364	-364	-700	-700
	買い手	-	-	-	-
	合計	-364	-364	-700	-700
合計 FOODS Info Mart 全体	売り手	15,373	+992	16,181	+1,800
	買い手	2,690	+38	2,852	+200
	合計	18,063	+1,030	19,033	+2,000

〈ASP事業〉

・フード業界各社の競争力アップの一環として、業務効率化・コストダウンを実現する「ASP受発注システム」及び食の安心・安全対策強化に貢献する「ASP規格書システム」の新規稼動を今後も継続してまいります。

・第4四半期は、例年、食品食材の流通が多い期間であることから売り手企業の従量制システム使用料の増加を見込みます。

通期の業績予想は、
前回公表(2008年2月13日)と変更ありません

■ 1株当たり配当金予想

(単位:円)

	2007／12期 実績	2008／12期 予想	前期比
中間配当	1,550	2,840	—
期末配当	3,960	2,840	—
年間合計	5,510	5,680	+170

※2008/12期中間配当は、2008年8月29日に実施した実績値です。

増収増益を達成し、基本配当性向50%により増配を継続いたします

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績の向上及び財務体質の強化を図りつつ、業績に応じた成果の配分(基本配当性向 50.0%)を継続的に行うことを配当政策の基本方針としております。

Ⅲ. EMP事業について

①食材甲子園の利用企業について…

2008年1月～9月末までに1年目の満期を迎えた食材甲子園(売り手)参加企業…391社
更新率は34.3%で134社となります。

利用1年目を終了し、2年目よりシステム使用料が団体パック料金から標準料金となること、また1年間会社として活用できず、成果が出せなかった企業が解約。

②旧食品食材市場の利用企業について…

2008年1月～9月末までに1年目の満期を迎えた旧食品食材市場(売り手)参加企業…402社
更新率は42.0%で169社となります。2年目以降の更新率は68.1%と向上。

2008年1月～9月末までに1年目の満期を迎えた旧食品食材市場(買い手)参加企業…432社
更新率は57.2%で247社となります。2年目以降の更新率は77.4%と向上。

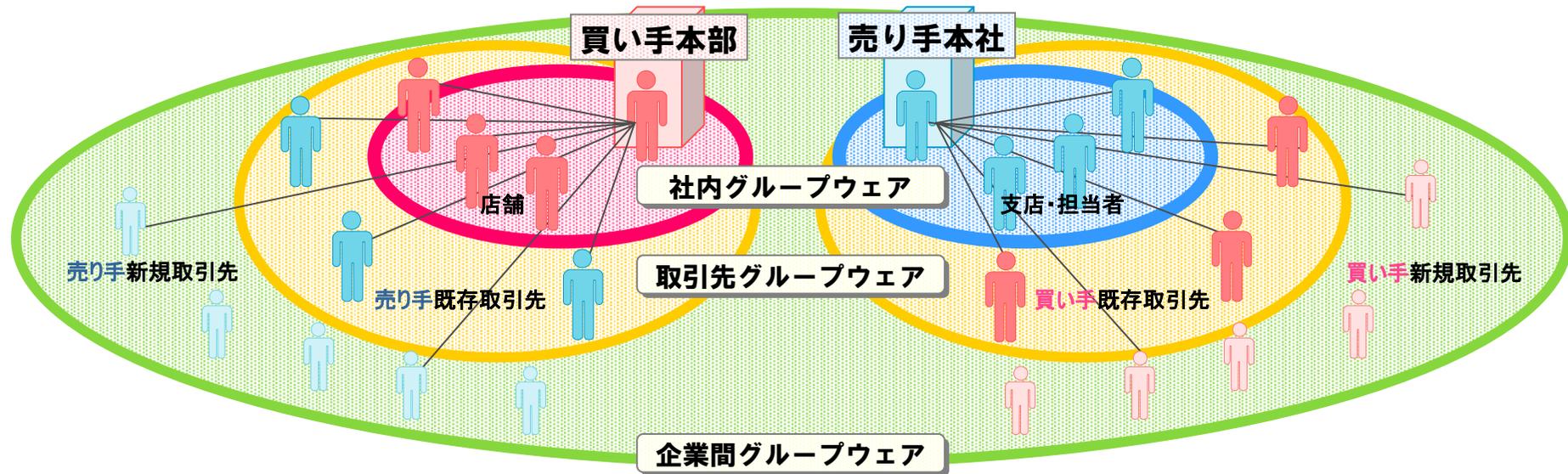
課 題

会社としての活用促進が進まず、1年で成果が出なければ退会する企業が多くなってきている。

対策

①、②いずれも、食材甲子園、旧食品食材市場の活用を日常業務に落とし込むことができなかった企業、スポットでの利用しかできなかった企業が解約となっているため、ASP商談システムへ移行しています。

会社としての活用が進むASP商談システムとして、利用促進を図っております！



主な機能	買手利用ツール	売り手利用ツール
商品データベース	商品検索・比較検討	商品情報電子カタログ化・印刷
見積管理機能	見積依頼・履歴管理	見積提出・履歴管理
提案募集機能	商品／企業募集	提案営業・商談管理
ダウンロード機能	取引履歴情報ダウンロード 各種帳票出力	商品データダウンロード機能 取引履歴情報ダウンロード 各種帳票出力
その他	サンプル依頼・産地見学申込・取引先一斉通知メール 取引／予定カレンダー など	



買い手に向けた対策

買い手利用企業より取引先リストを回収



合計1,100社以上に
取引先リストを提出いただく

ASP受発注システム活用企業への導入促進

- ・取引先のインフォマート加入状況マッチング
- ・取引先と共に利用できる環境の初期設定

その結果

- ①商談システム
利用売り手企業**1,165社**
- ②ASP受発注システムのみ
利用企業**10,000社**
- ③未参加売り手企業**9,000社**

ASP受発注システムのみ利用企業と未参加売り手企業、合計1万9000社へ案内を強化してまいります。

売り手に向けた対策

3ヶ月お試しキャンペーンを実施



累計1,561社以上に
お試しキャンペーンの申込をいただく

商品カタログ登録代行キャンペーンを実施

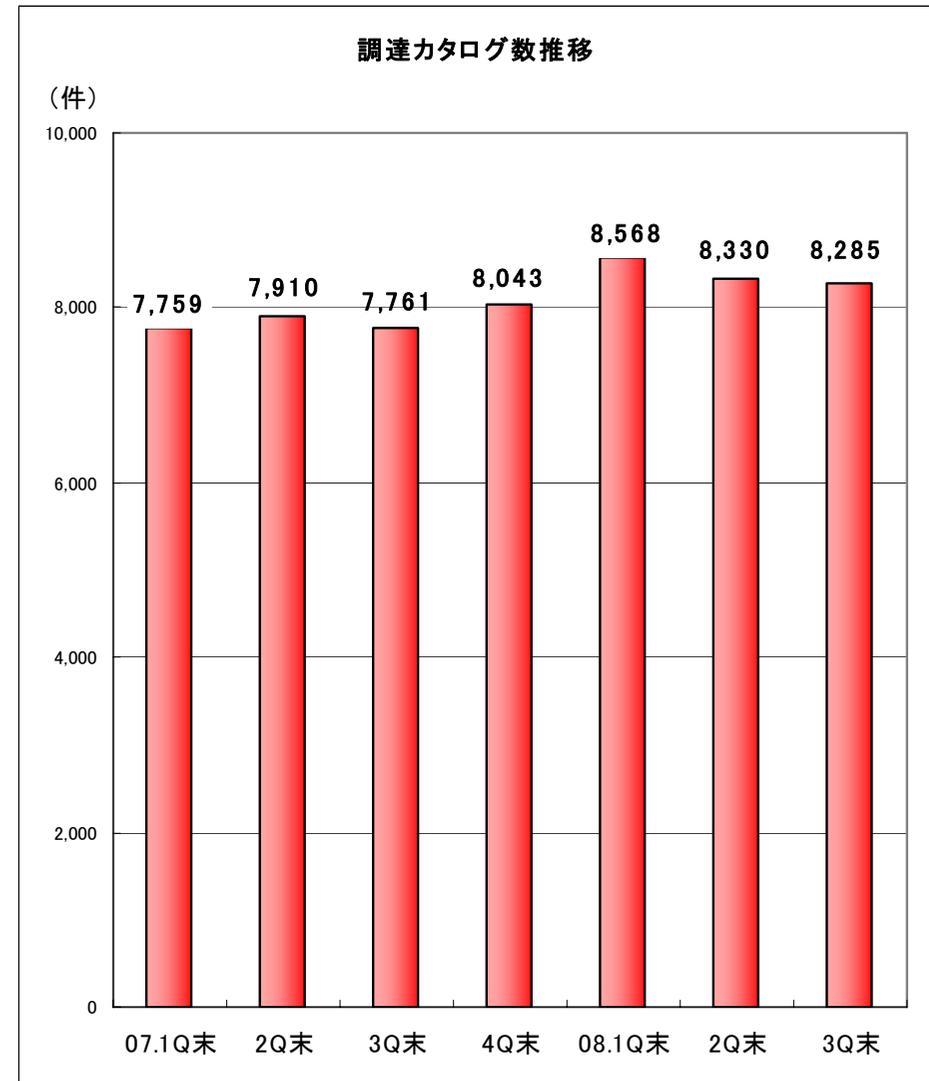
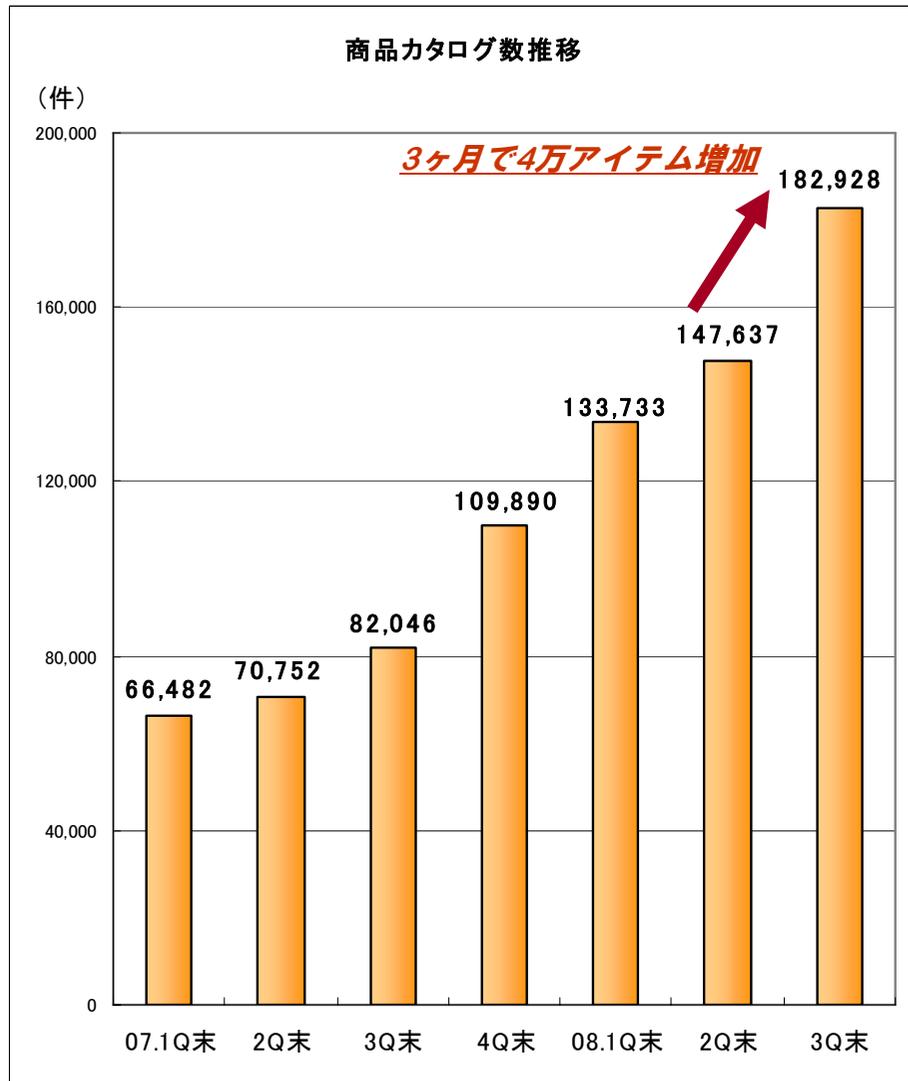
- ・取引先と共に利用できる環境の設定
- ・取扱商品の商品カタログ化へ着手

その結果

- ①売り手**364社**が有料化へ
- ②商品カタログ数の**増加**
- ③商品カタログ数の増加に伴う
決済代行取引高の増加

3ヶ月お試しキャンペーンで全ての企業様に商談システムの落とし込みができていませんが、
今後、有料化へ向けた取り組みを強化してまいります。

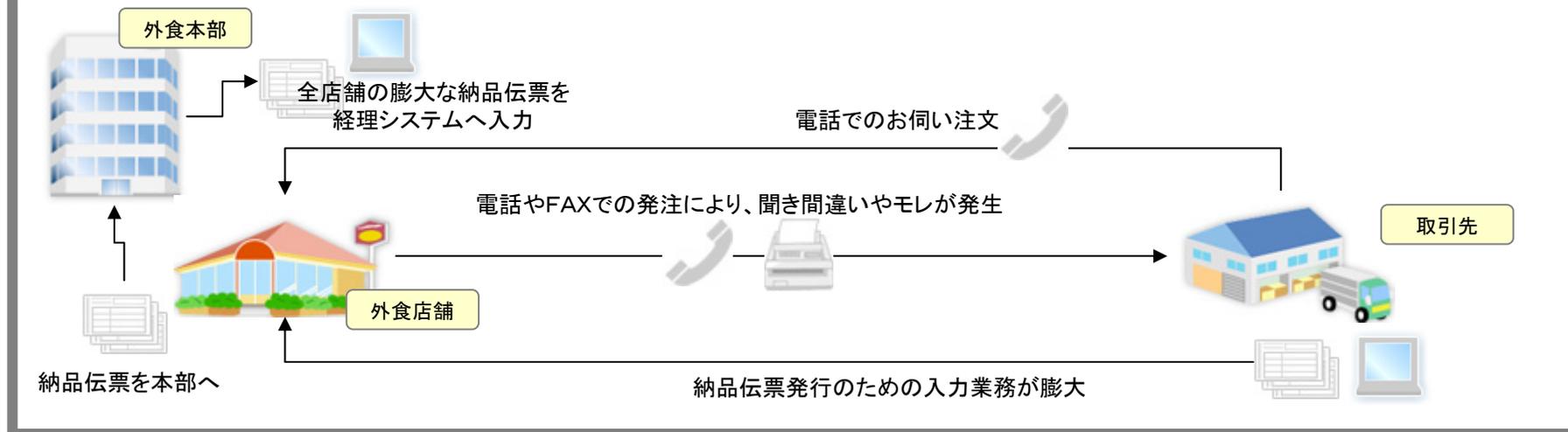
ASP商談システムの活用拡大により商品カタログ数が増加、取引が活性化し、前年同期比で「決済代行システム」+5.2%、「アウトレットマート」+15.5%と、取引に関する売上が増加いたしました。





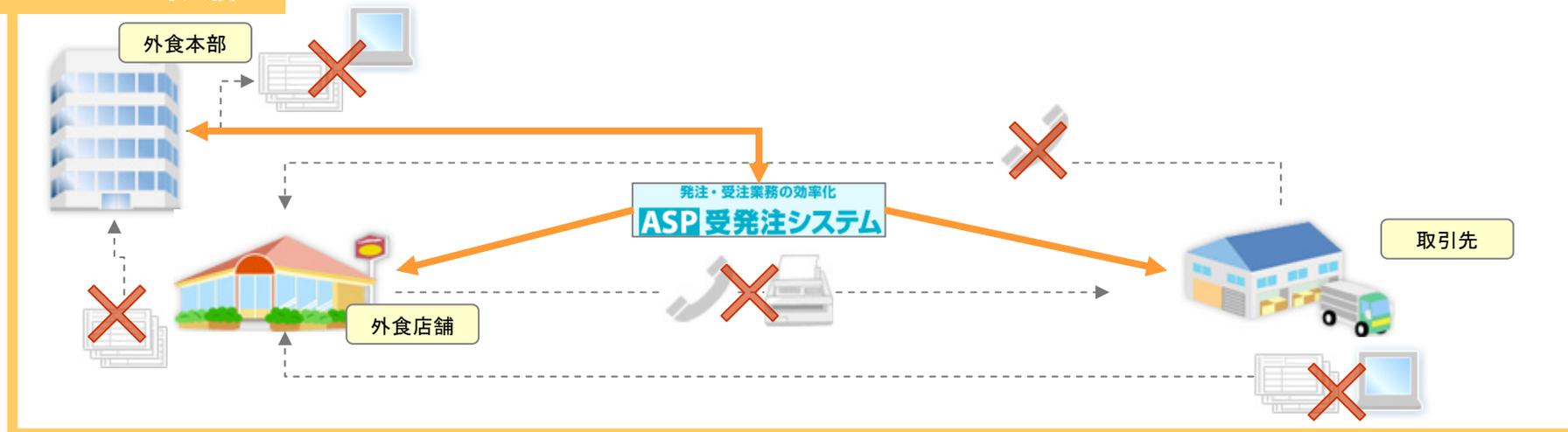
IV. ASP事業について

システム導入前



従来の受発注業務における「ミス・ロスを削減」、「業務を省力化」し、**時間・コストを削減**

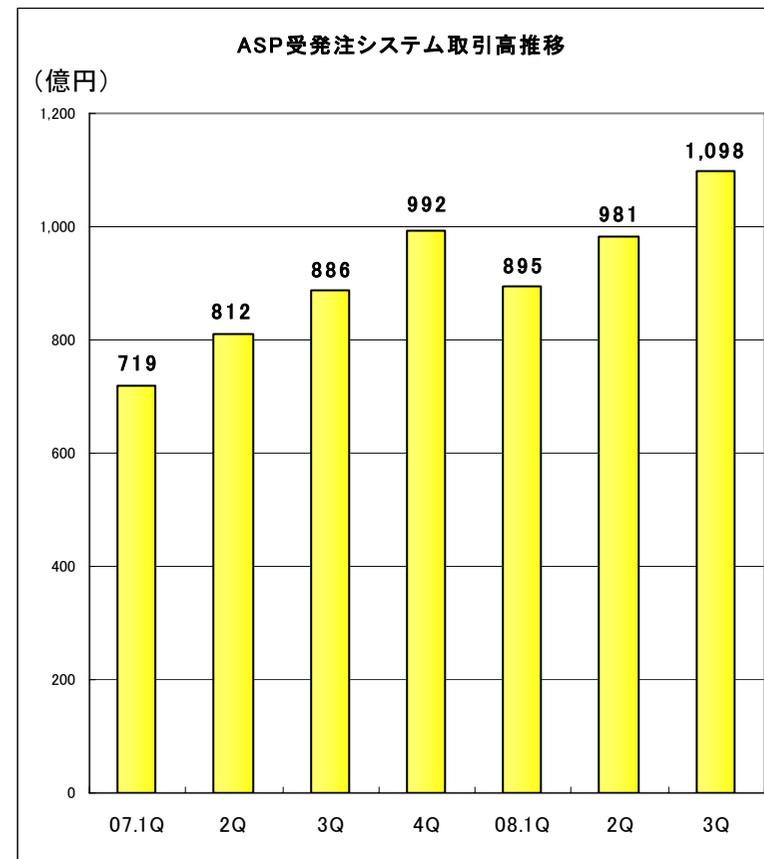
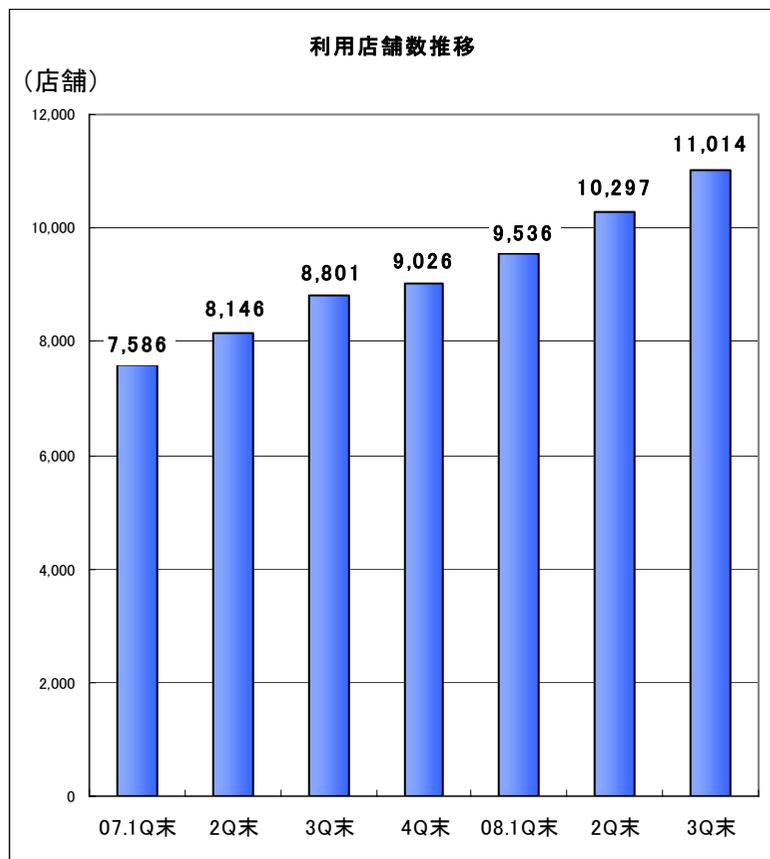
システム導入後



システムの普及により業界の受発注業務手順が統一され、更なる業界全体の業務効率化へ！

ASP受発注システム利用店舗数は1万1千店舗を突破！

第3四半期のシステム取引高は、前年同期比23.0%増の2,975億円となり、順調に拡大

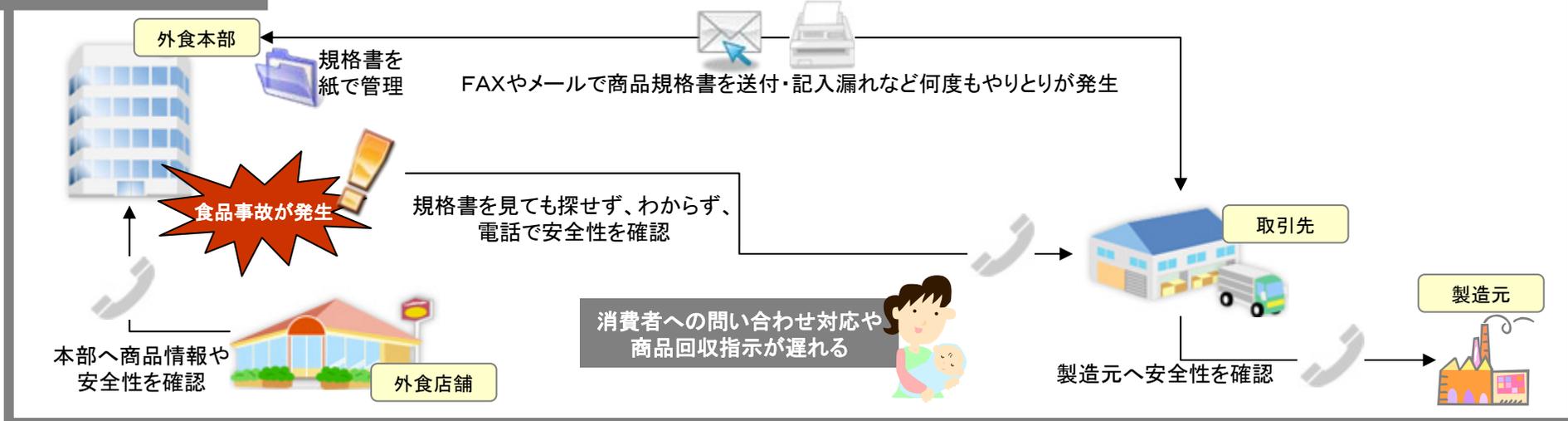


「ASP受発注システム」の中期目標：「2+8=10目標」

～目標買い手店舗数：2万店舗 + 目標年間受発注取引高：8,000億円(外食産業全体の10%シェア)～

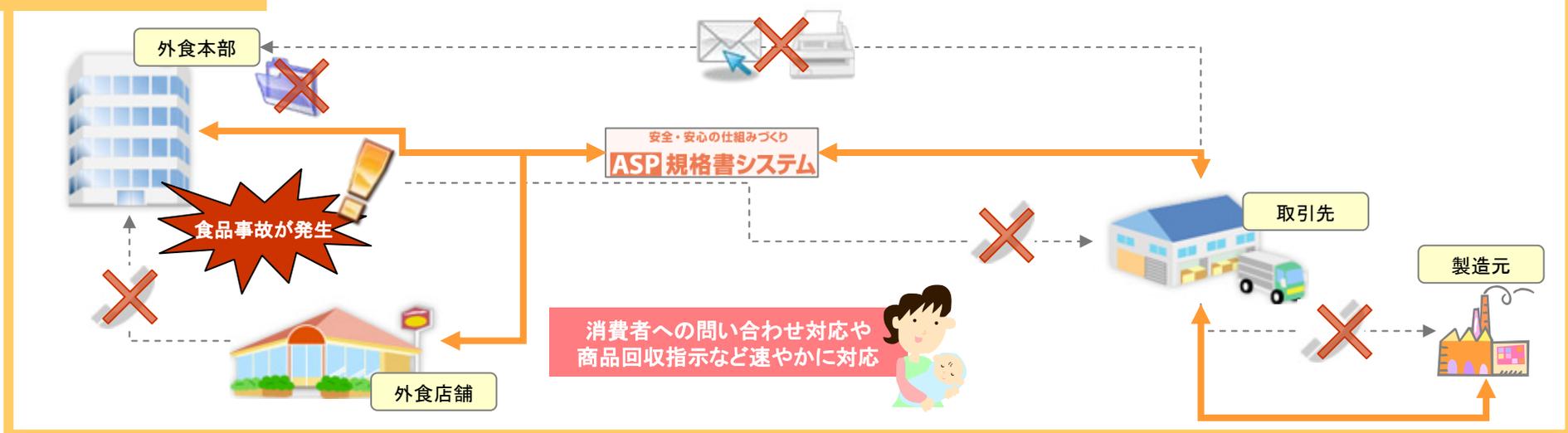
(注)2007年外食産業市場規模、24兆7,009億円(外食産業総合調査研究センター データより)から仕入金額を30%の前提で計算すると7兆4,103億円となり、当社2007年度取引高3,410億円は4.6%にあたります。(当社計算による)

システム導入前



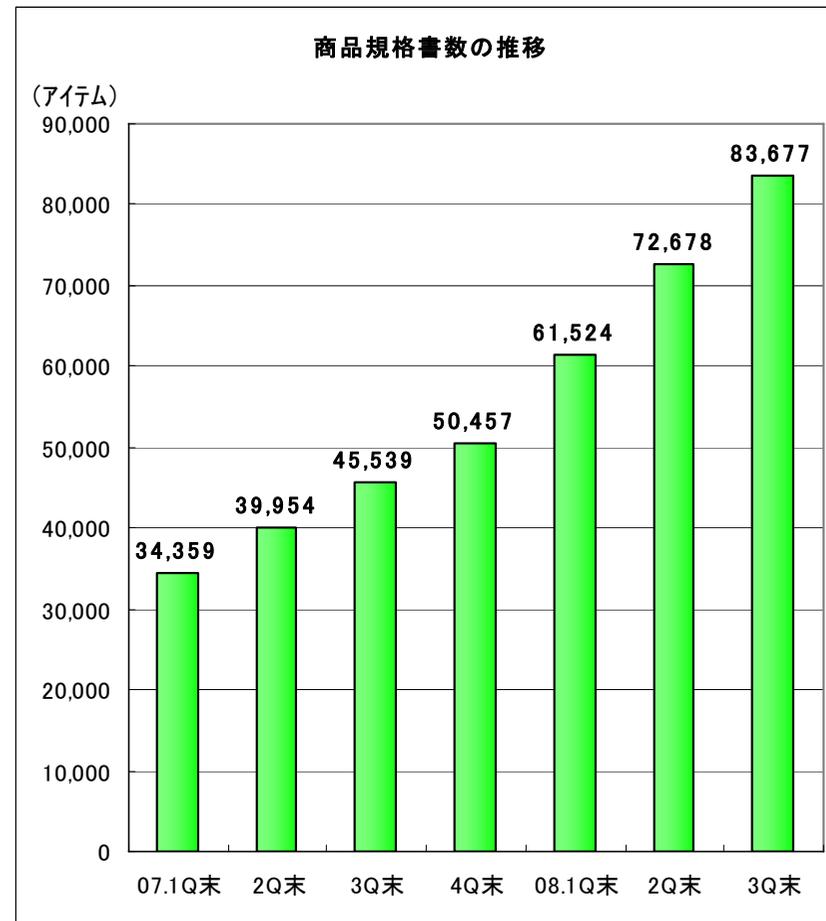
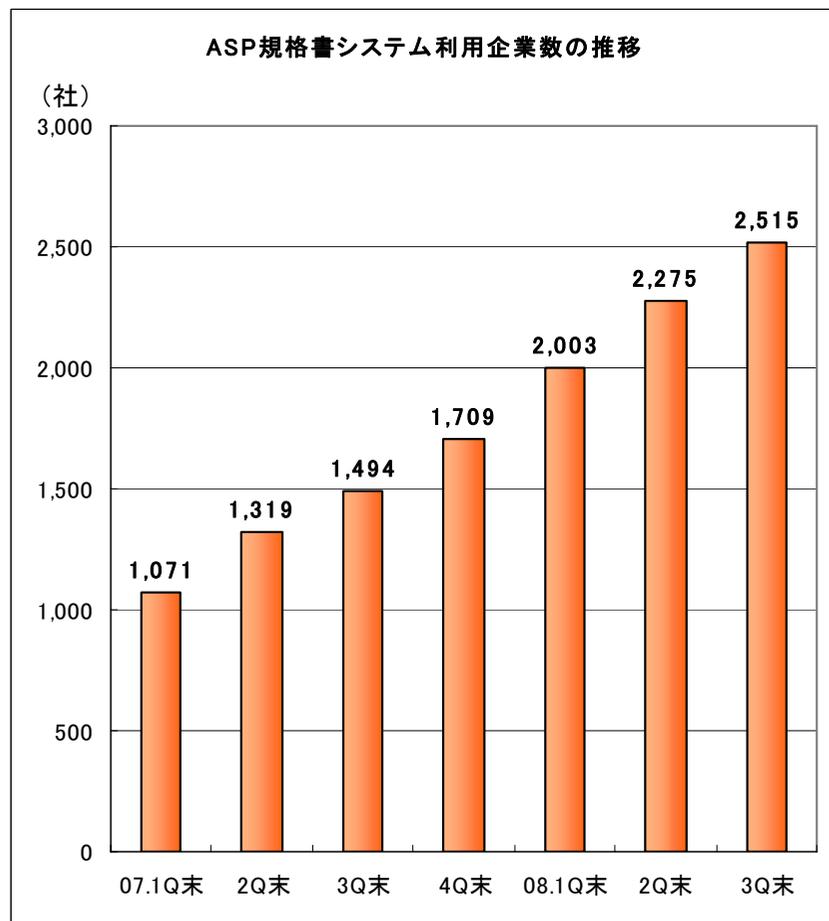
従来の商品規格書管理における「提出・取得業務の効率化」「迅速なリスク回避を実現」し、**時間・コストを削減**

システム導入後



システムの普及により業界の商品規格書フォーマットが統一、情報伝達・共有がスムーズに！

昨今の食に関する事件等によるフード業界各社の食の安心・安全対策強化の流れを受け、
「商品規格書」の必要性が一層高まっています。



業務用食材における商品コード化を業界企業と共に検討いたします

～業務用JANなし商品に向け、業界統一の商品コードを持ち管理を強化～

2008年10月より、ASP受発注システムは**保存データ参照機能**を全ての利用企業様へ提供開始。

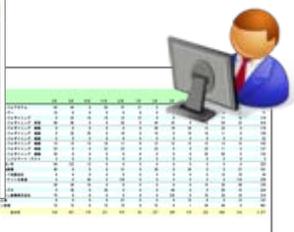
これまでのシステム と システム使用料

- ・買い手企業 : 本部 13,000円/月
 - ・売り手企業 : 定額制 25,000円/月
従量制 月額取引額の1%/月
- (税別)

改定後のシステム と システム使用料

- ・買い手企業 : 本部 18,000円/月
 - ・売り手企業 : 定額制 28,000円/月 従量制 月額取引額の1.1%/月
- これまでどおり、買い手店舗月額1,300円、売り手営業所などの追加ID800円には変更ありません。
- (税別)

FOODS
Info Mart



3年間のデータは当社にて保存
4年目以降のデータは各社にて保存

保存データ参照機能

保存データ参照

- 取引ダウンロード依頼
- 取引伝票一覧
- 取引一覧
- 仕入一覧(取引)
- 取引年表
- 仕入商品年表
- 受発注 請求一覧

7年間のデータを当社にて保存。
利用企業は同一画面でいつでも確認可能に！



V. その他の活動報告

～ WEB商談で取引先との関係強化へ！～
購買責任者に聞く
「仕入」の本音セミナー

パネルディスカッション形式で
ホテル購買責任者 様の本音が聞ける！

第1部 ～既存客と新規客を結んでつなぐ～
国内最大スケールのWEB商談とは？
 株式会社インフォマート EMP事業部 サポート1課 課長 鈴木 三徳

本セミナーの共催企業である2社のホテル様にも活用いただいているツール「ASP商談システム」の概要についてご説明いたします。(詳細は表面参照)

第2部 <<パネルディスカッション>>
 ～ホテル購買責任者に聞く～ **取引先との最高の関係構築とは？**
パネリスト：ホテル2社の購買責任者 様

ホテル購買責任者様が求める「取引先との最高の関係」とは一体どういったものなのか、パネルディスカッション形式でお話しします。

- 新規取引先に求めるものって？
- 既存取引先に求めるものって？
- メニュー決定から購買までのプロセスについて・・・etc

第3部 **名刺交換会及び商談会**
 今回のパネリストの購買責任者様の方、及び来場いただく多数の食に携わる企業様と情報交換、及び商談のお時間をご用意しております。

■日時：2008年7月14日(月) 14:00～16:00 (13:30 開場・受付開始)
 ■会場：東京グランドホテル 芙蓉の間(東京都港区芝2-5-2)
 ■定員：100名(※定員になり次第締切)
 ■参加費用：無料

お問合先：株式会社インフォマート「仕入」の本音セミナー担当 大谷・西田
 〒105-0013 東京都港区浜松町1-27-16 浜松町Dビル
 TEL:03-6776-1146 URL: www.foodsinfo.com

勝ち組になる
飲食店経営セミナー2

「同じ店ばつくない」をモットーに日本の食文化をリードするゼットン 飲食業界の風変わりとして快進撃を続けるその秘訣とは？

1 軒の店が
街を変ええる
 店づくりは街づくり

zeltion.
 株式会社ゼットン代表取締役社長
稲本 健一 氏

2 仕入革命!! 受発注システムで外食本部は強くなる
 株式会社インフォマートASP事業部 部長 大島 大五郎

3 業務用限定商品無ろ過ビール「白穂乃香」開発ストーリー
 サッポロビール株式会社 醸造部 醸造課 新出 浩士

4 懇親会「白穂乃香」試飲会

2008年9月25日(木)◎サッポロビール株式会社本社 東京都港区芝浦4-20-1(都営浅草線浅草駅西口1F大講堂)
 ○13:00開場・受付開始/ 第1部 13:30～/ 第2部 15:35～/ 第3部 16:20～/ 第4部 16:45～(※開場前には試飲会)
 ○参加費用：5,000円(税込)
 主催：株式会社インフォマート/ サッポロビール株式会社

業界のスペシャリスト3社がお届けする
食の安全・安心セミナー

東京開催 2008年7月31日(木) 参加費 **無料** /各会場限定 **50名**
 大阪開催 2008年7月8日(火)

食品法の管理と検定(日本セルフサービス協会)、品質管理プログラム(消費経済研究所)、商品規格データベース(インフォマート)、「食の安全」に関して取り組んでいます。

この度、社団法人日本セルフサービス協会、株式会社消費経済研究所、株式会社インフォマートの3社共同でスーパー業界向けの「食の安全・安心」無料セミナーを東京・大阪で開催させていただきます。先般発生しました「餃子事件(餃子シャック)」にて、中国産食品問題、過剰なまでのマスクの取っ手により、一般消費者の不安や不信が増幅されており、皆様おに於かれては、その対応などに大変苦慮していらっしゃると思われ、各社が専門とする「食の安全」対策についてご案内するセミナーを開催させていただきます。

セミナー参加費用は無料とさせていただきますので、ふろってご参加の程、お待ちしております。今後の食の安全対策の一助としていただければ、幸いです。

セミナー概要

講演1 スーパーに於ける品質管理のポイント(80分)

◆講演内容

1. 回収事例から見える現場の問題点
2. 原材料の記録、仕替等々の書類管理の重要性
3. 表示問題を起こさない為のポイント

◆講師

【東京会場講師】
 株式会社消費経済研究所/衛生管理-コンサルタント 次長
稲田 伸夫(のぶ) 氏
 1991年 日本製菓衛生科学大学卒業、エリッパ食品工業(株)を経て、1996年より株式会社消費経済研究所に入社。営業企画として、販売促進-業務提携、代理店構築に携わり、2005年より新規事業として、食の安全安心事業「ASP規格書システム」に立ち上げから従事。商品規格書フォーラムの標準化推進の一環として、100社以上の外食・中食・小売企業の商品規格書管理事情を把握し、商品規格書業務の管理強化に動向を掴んでいる。

◆講演2 PB品・デリカ品に於ける品質保証管理の方法と実例(80分)

◆講演内容

1. 代表的な商品規格書の管理項目について
2. 代表的な商品規格書の管理方法について
3. <<事例紹介>>商品規格書情報の活用方法について

◆講師

株式会社インフォマート/業務システムチームリーダー
田川 高輝(たかね) 氏
 1996年 明治大学経済学部卒。マーケティング会社を経て、2000年より株式会社インフォマートに入社。営業企画として、販売促進-業務提携、代理店構築に携わり、2005年より新規事業として、食の安全安心事業「ASP規格書システム」に立ち上げから従事。商品規格書フォーラムの標準化推進の一環として、100社以上の外食・中食・小売企業の商品規格書管理事情を把握し、商品規格書業務の管理強化に動向を掴んでいる。

これまでに全17回のセミナーを実施、合計634社、893名に参加いただきました。引き続き、セミナーを開催し、多くの企業様にシステムを知っていただく機会を創出し続けてまいります。

業界初!

2008年9月17日 フード業界の展示会・イベント・セミナー情報を集めた会員制ポータルサイト
「食覧会.COM」(シヨ克蘭カイドットコム)を開設

イベント・セミナー情報登録実績 と 会員登録実績

「FOODEX2009」や「ファベックス2009」など大規模な展示会情報から、
地方銀行主催の「あきぎん・いわぎん・あおぎんビジネス商談会」など、
全16イベント・セミナーの情報が掲載されています。
申込会員数は約1ヶ月で600名となりました。



食覧会ユーザーのバイヤーから、
招待券申込や、当日のアポイント
依頼などがメールで入ります。



出展企業情報

出展企業情報

出展予定イベント: インフォーマットの大会展2008

出展企業名: 有限会社時水産

業種: 中食流通 / 卸・問屋・市場

所在地: 東京都江東区豊洲1-1-1

プロフィール: 北海道、東北の農産物を中心に取扱い、食生活の中心に特化した食生活の提供をコンセプトとして、食生活の中心に特化した食生活の提供をコンセプトとして、食生活の中心に特化した食生活の提供をコンセプトとして...

ホームページURL: http://www.infomart.co.jp

登録日: 2008年7月30日

出展予定商品: カラス 【神楽川展 4月~11月】
同様に、焼きたては日産約1000個、鮮魚の中心に取扱い、食生活の中心に特化した食生活の提供をコンセプトとして...

出展商品PR

イベント開催情報

イベント名: フードサービスバイヤーズ商談会2008

開催日時: 2008/10/29

開催場所: 東京都

主催: 東京流通センター 第一展示場

出展者募集: 締切: 2008/10/29

概要: フードサービスバイヤーズ商談会とは、食品流通業界のバイヤーとメーカーの接点をつくり、最新の市場情報や商品情報、最新の市場情報や商品情報、最新の市場情報や商品情報...

食覧会.COM

注目イベント

- 第6回あきぎん・いわぎん・あおぎんビジネス商談会 by Netbix
 - 開催日: 2008/11/18
 - 開催地: 東京都
 - 主催: 社団法人日本フードサービス協会
 - 出展者募集: 締切: 2008/11/11
- 第6回あきぎん・いわぎん・あおぎんビジネス商談会 by Netbix
 - 開催日: 2008/10/29
 - 開催地: 東京都
 - 主催: 東京流通センター 第一展示場
 - 出展者募集: 締切: 2008/10/29
- 惣菜デリア / 弁当 / 中食 / 外食業界 業務用専門展 ファベックス2009
 - 開催日: 2009/4/22~2009/4/24
 - 開催地: 東京都
 - 主催: 日本食糧新聞社
 - 出展者募集: 締切: 2008/12/26
- 第49回 2009スーパーマーケット・トレードショー
 - 開催日: 2009/2/11~2009/2/13
 - 開催地: 東京都
 - 主催: 社団法人日本セルフサービス協会
 - 出展者募集: 締切: 2008/12/31 (募集期に達し次第締め切)
- '09食博覧会・大阪
 - 開催日: 2008/4/30~2008/5/10
 - 開催地: 大阪府
 - 主催: 食博覧会実行委員会 / 大阪府21世紀協会 / 社団体外食産業協会
 - 出展者募集: 締切: 2008/4/24
- 関西フード産業展 NEW
 - 開催日: 2009/6/16~2009/6/18
 - 開催地: 大阪府
 - 主催: トレードショー・ガバナイズ株式会社
 - 出展者募集: 締切: 小園が埋まり次第終了
 - 出展者募集: 締切: 2008/4/24
- 居酒屋産業展
 - 開催日: 2009/9/10~2009/9/20
 - 開催地: 神奈川県
 - 主催: トレードショー・ガバナイズ株式会社
 - 出展者募集: 締切: 2009/6/30

2008年9月25日、FOODS Info Mart は
第3期「ハイ・サービス日本300選」を受賞いたしました

「ハイ・サービス日本300選」：

サービス業においてプロセス改善、高付加価値サービスの創造、科学的・工学的アプローチなど、先進的な取り組みを実践している企業を経済産業省・財団法人 社会経済生産性本部が選定する賞です。

評価理由：

フード業界に特化した、ECプラットフォーム「FOODS Info Mart」を、製造・配送・販売の各事業者向けにASPサービスで提供することによって、業界全体の取引を活性化し、自社のサービス利用価値を高めている点をご評価いただきました。





VI. 補足資料

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ フード業界の発展に貢献 ～

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームでお客様同士、お客様と共に Win to Win collaboration を創出する

【会社概要】

(2008年9月末現在)

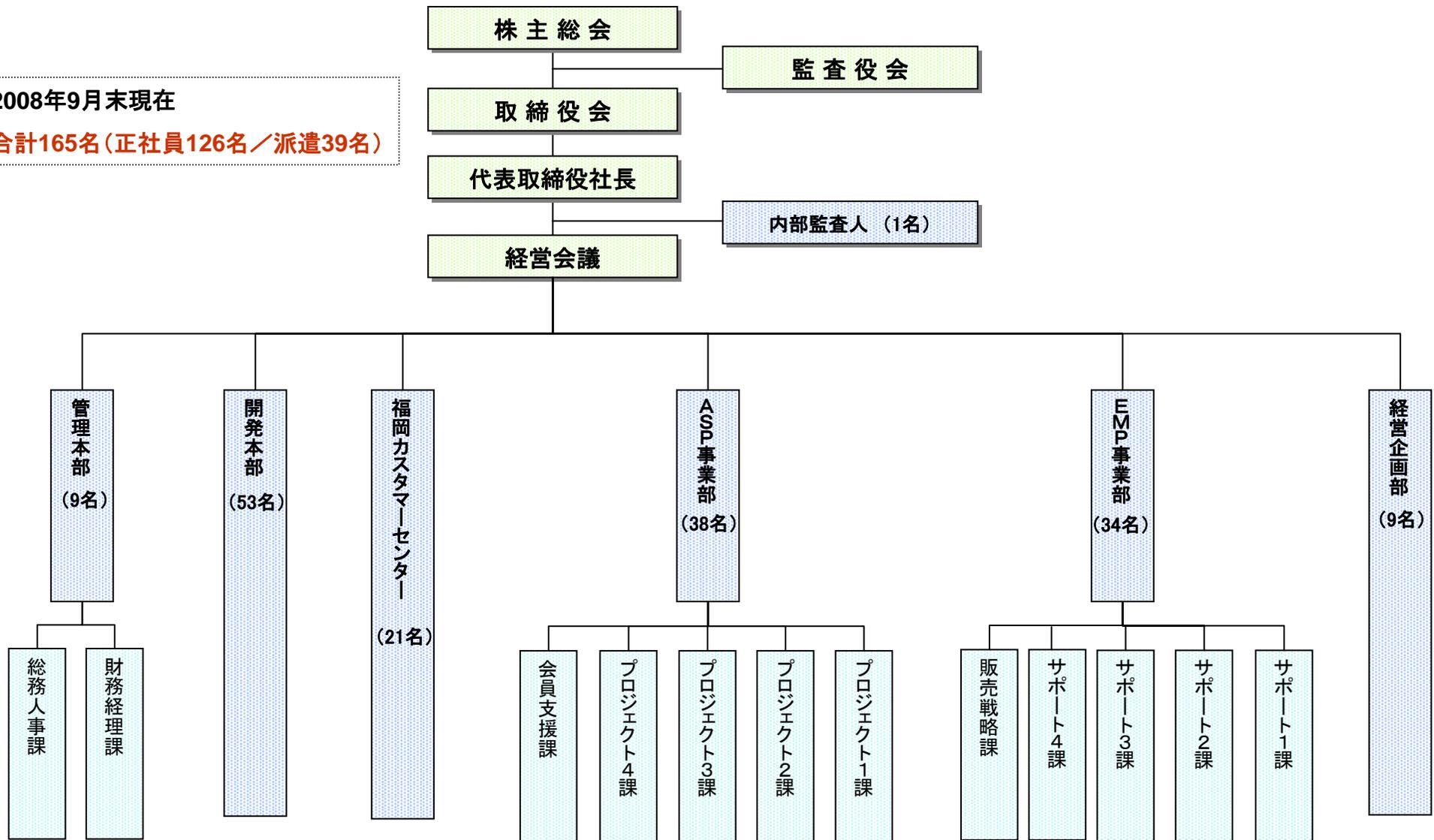
商号	株式会社インフォマート (Infomart Corporation)
代表取締役	村上 勝照
事業内容	フード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「フーズインフォマート(FOODS Info Mart)」の運営
本社所在地	東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル
設立	1998年2月13日
営業所	福岡カスタマーセンター
資本金	9億9,997万円
従業員数	165名(正社員126／派遣39)
主要取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行(浜松町支店) (株)みずほ銀行(赤坂支店)
共同事業先	(社)日本フードサービス協会、(社)日本セルフ・サービス協会

【沿革】

1998年 2月	会社設立
1998年 6月	「食品食材市場」のサービス開始
2000年 6月	社団法人日本フードサービス協会と外食産業向 JF FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2000年11月	「決済代行システム」のサービス開始
2001年 6月	「アウトレットマート」のサービス開始
2001年 7月	社団法人日本セルフ・サービス協会と小売業界向 JSSA FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2003年 2月	「ASP受発注システム」のサービス開始
2005年 4月	「FOODS信頼ネット」のサービス開始
2005年 4月	「WEB購買支援システム」のサービス開始
2006年 1月	「食材甲子園」のプロジェクト開始
2006年 8月	東京証券取引所マザーズ市場へ上場
2006年 9月	「外食応援団」のサービス開始
2006年 9月	「ASP受発注システム アライアンスパートナー制度」の開始
2007年 6月	「WEB販売支援システム」のサービス開始
2007年 7月	「ASP商談システム」のサービス開始
2008年 3月	「FOODS信頼ネット」を「ASP規格書システム」に名称変更
2008年 4月	新「ASP商談システム」のサービス開始

2008年9月末現在

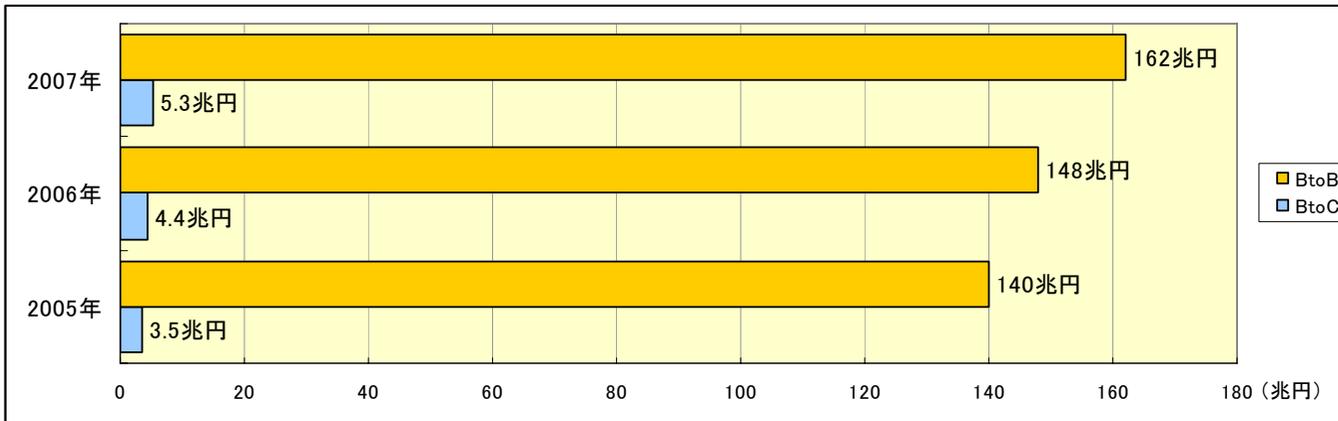
合計165名(正社員126名／派遣39名)



■ 市場規模の違い 株式会社インフォマートの事業は BtoB ビジネスです

BtoB と BtoC の市場規模

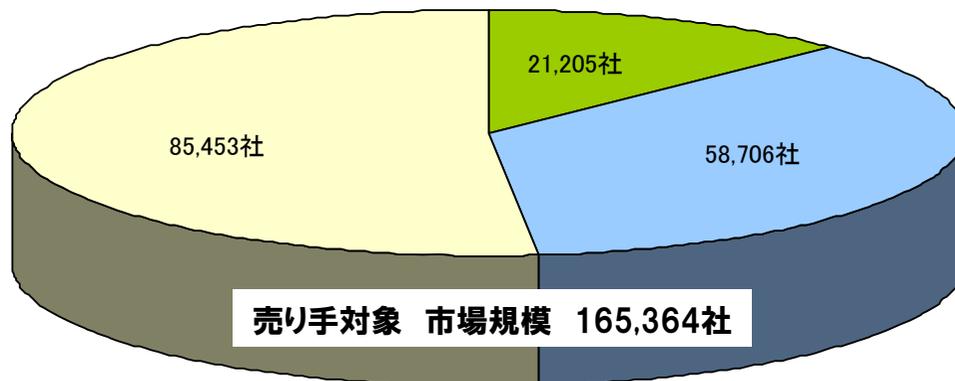
※参考 経済産業省 「平成19年度我が国のIT活用に関する調査研究」より



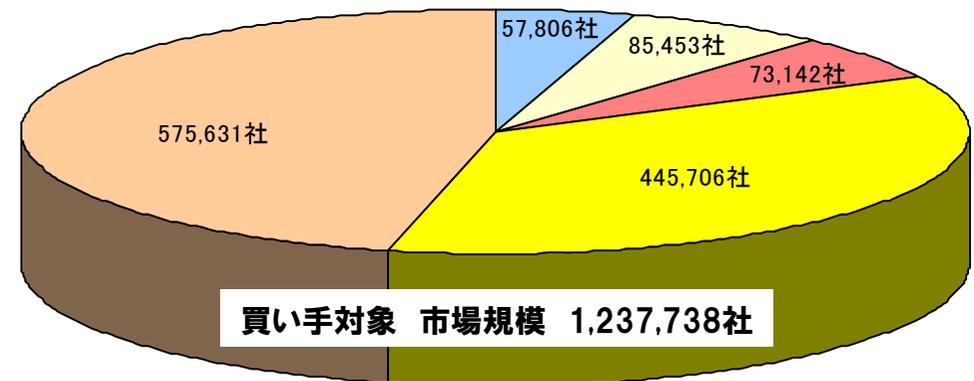
BtoB市場はBtoC市場の約31倍の市場規模です

■ 市場規模 サービスの利用対象企業は140万社です

■ 農・畜・漁業 ■ 製造業 ■ 卸売業



■ 製造業 ■ 卸売業 ■ 旅館・ホテル・レジャー ■ 小売業 ■ 外食



当社の事業は、「EMP事業」及び「ASP事業」の2事業で構成されております。

EMP事業

ASP商談システム	1. システム使用料 ・買い手企業 5,000円/月 ・売り手企業 25,000円/月
	2. アウトレット売上(商品売買による)

オプション機能	決済代行システム
---------	----------

ASP事業

ASP受発注システム	1. システム使用料 ・買い手企業 本部：18,000円/月、店舗：1,300円/月 ・売り手企業 定額制もしくは従量制を選択 定額制 28,000円/月、11D追加：800円/月 従量制 月額取引金額の1.1% (月額取引10万円未満の場合無料)
	2. 初期費用(買い手のみ) 300,000円~1,000,000円

ASP規格書システム	1. システム使用料 ・買い手企業 30,000円/月、・売り手企業 5,000円/月
	2. 初期費用(買い手のみ) 200,000円~1,000,000円

オプション機能	1. ASP売上日報システム
	2. 新決済システム
	3. アップロード機能

システム使用料の売上比率 (2008/1-9月 実績)

◆売上全体の84%

(EMP事業：69%/ASP事業：95%)

システム使用料 スtock型の収益モデル

※上記金額は税抜です。

- 2008年 10月1日 [関東経済産業局広報誌・いっとじゅっけん] 急成長するサービスベンチャー 株式会社インフォマート
- 2008年 9月29日 [週刊水産新聞] 旬材とインフォマート、新流通システムで提携
- 2008年 9月29日 [水産タイムス] インフォマート、「旬材」と業務提携
- 2008年 9月17日 [日経新聞 17面:新興・中小企業] ネットで鮮魚買い付け仲介
- 2008年 9月10日 [日経新聞 7面:経済2] 地元の食材、ネットで紹介
- 2008年 9月10日 [日経流通新聞 15面:フードビジネス] インフォマート 地域食材の商談仲介 営業コスト削減に一役
- 2008年 9月1日 [食品工場長9月号] 商品規格書データフォーマットを標準化「ASP規格書システム」
- 2008年 8月30日 [西日本新聞 10面:地域経済] 取引先食品企業の電子商取引を支援
- 2008年 8月30日 [食品工業9月30日号] 「勝ち組になる飲食店経営セミナー2」開催
- 2008年 8月29日 [ザ・ビジネスモール] 食品業界の仕入れルート発掘、新規取引先開拓 奥の手宣言!
- 2008年 8月22日 [近代食堂9月号] インフォマートが、食の展示会サイト「食覧会.com」を開設
- 2008年 8月20日 [月刊食堂9月号] 食カレンダー 「勝ち組になる飲食店経営セミナー2」開催
- 2008年 8月1日 [ニッキン] インフォマート、フィデックと提携 資金繰り改善を支援
- 2008年 7月30日 [外食日報] インフォマート、稲本ゼットン会長を招き経営
- 2008年 7月29日 [冷食タイムス 12面] インフォマート、フィデックと提携し決済を簡素化
- 2008年 7月28日 [外食日報] インフォマート、金融のフィデックと提携して新サービス
- 2008年 7月21日 [日経新聞 13面:企業1] 食材取引の代金決済支援
- 2008年 7月21日 [流通ジャーナル 6面] インフォマート ITで商品開発を効率化
- 2008年 7月15日 [冷食タイムス 6面] 食材B2BのインフォM、展示会情報サイト運営
- 2008年 7月15日 [冷食タイムス 6面] インフォMのASP利用1万店
- 2008年 7月11日 [日本食糧新聞 1面] 食品関連展示会ポータルサイト開設
- 2008年 7月11日 [日本食糧新聞 11面:機械・IT] インフォマート受発注システム 利用者1万店舗を突破
- 2008年 7月8日 [ドリームゲート] 起業家インタビュー 「MY BEST LIFE 挑戦する生き方」
- 2008年 7月7日 [冷食タイムス] インフォマート、展示会情報サイト運営
- 2008年 7月4日 [冷食タイムス] インフォマート、ASP利用1万店突破
- 2008年 6月30日 [食品工業7月30日号] インフォマートとびわこ銀行が連携
- 2008年 6月30日 [日経流通新聞 5面:総合] 食イベントの情報提供 インフォマート、会員制サイト開設
- 2008年 6月21日 [読売新聞 38面:社会] 食ショック期限間近、アウトレットで
- 2008年 6月19日 [水産タイムス] インフォマート、ASP受発注1万店突破
- 2008年 6月16日 [外食日報] インフォマート、外食1万店がASP受発注システム活用
- 2008年 6月15日 [読売新聞 31面:地域] 滋賀の味、サイトで発信 「食材甲子園」に8月開設
- 2008年 6月6日 [京都新聞 11面:地方経済] びわこ銀行、電子商取引で、食品企業支援
- 2008年 5月29日 [日本経済新聞:地方経済] びわこ銀など、食材の販路拡大、サイト使い支援
- 2008年 5月26日 [フジサンケイビジネスアイ] 大久保秀夫のトップ訪問 インフォマート
- 2008年 5月15日 [日刊 食品速報] 外食と野菜 安心安全のためにトレースできる仕組みを
- 2008年 4月22日 [近代食堂5月号] インフォマートが10周年で新サービスを開始
- 2008年 4月22日 [財界 春季特大号] トップは挑戦する
- 2008年 4月22日 [Forbes日本版 6月号] 自治体、地銀などがネット取引で地場産品を掘り起こし
- 2008年 4月19日 [月刊食堂5月号] インターネット食材購買のいま
- 2008年 4月11日 [日本食糧新聞 5面] インフォマート、電子商取引と商談業務支援 システムを統合
- 2008年 4月1日 [冷食タイムス 6面] インフォマート、ASP規格書システム刷新 食品不祥事多発で需要拡大
- 2008年 3月31日 [日経流通新聞 5面:総合] 商談・取引先開拓同時に インフォマート、食材調達サイト刷新
- 2008年 3月21日 [日経流通新聞 19面:フードビジネス] 外食各社、安全対策を強化
- 2008年 2月20日 [北海道新聞 11面:経済] ネット商談 道産品好調 3ヵ月で10件成立
- 2008年 2月18日 [流通ジャーナル 4面] インフォマート BtoBで新規開拓を支援



最後に・・・

本日は、誠にありがとうございました。

フード業界に特化した

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームで

業界標準化を目指します。

株式会社インフォーマート

代表取締役社長 村上 勝照

当資料に記載された内容は、2008年10月30日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的な判断は、お客様自身がなされるよう、お願いいたします。

本資料は株式会社インフォマートによって作成されたものです。